保育者としての 資質向上のために、 あなたが受けた研修を この本に大切に 記録しておきましょう

研修ハンドブック Vol.4

保育者は生涯を通じて主体的に学び続けることが重要です。様々な団体が実施する研修会、研究会に参加し、 保育者としての資質向上を図りましょう。

これからは、幼児教育・保育の質の評価という点からも、園が研修の実績を公表する時代を迎えます。この研修ハンドブックに学びの記録をしっかりと残しておきましょう。



- ●一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構/監修
- ●定価:本体600円(税別) ●B6判 ●128ページ

研修ハンドブックの使い方

■研修記録

研修の実施団体が、研修の 参加証明のために発行する 研修スタンプを貼り付けて おきます。



■その他の 研修履歴一覧

上記以外の、園内園外で参加した研修を、記入例を参照して記録します。研修俯瞰図番号は巻末に掲載されている保育者としての資質向上研修俯瞰図に合わせて記載します。

MAR	Reitie	研修企業	講義・分科会等名	3114	200円金	可够供物品 各名	研修特殊数	イタガスカト 日間	国長(3)
2024 f 1 月 1 l		関長リーダー研修会	教育課程の編成と 見直しについて	0000	〇〇大学教授	E1	1.5	0	8

■道しるべ

保育者としてのキャリアステージに応じて、 どのような資質・能力を身に付けていきた いかを保育者一人一人が主体的に考えるた めのモデルを示しました。

				(一個)全日本化立地推開物党教育研		
10	THE STATE OF	フレッシュ ミド		リーダー 国長		
子からを扱い	子どもの人権	子どもの人権と権利を尊重することの重要 性を知り、意識して行動する	多様な子どもを受容し人権と権利を理由するこ とについて、同僚に具体的に示す	関や地域の人種に関する問題に取り刻み、子どもの人 種と維利を趣言する競技を実際や地域に広める		
	受されていると想 じられる保存	すどもに基かな関心を等せるとともに、す どもの思いを受けるめ、質細関係を能く	人間報・子ども報を深めるとともに、子どもがそ のするしく安心して生活するための環境やかか おりについて音響する	受情球・保育をすることの意義を期間に伝えながら、 保育者が子どもたると位前関係を集き、受情を注ぐ姿 を支える		
し、護り育	BRIVE WALK	子どもの健康について知り、健康に配達し たかかわりや状況に応じた行動をする	健康の素養性を理解し、実践するとともに、必要 会情報を構施的に発信する	子どもの健康に関する専門的な知識や副新の情報を 収集し、学校保証計画を作成する。子どもの健康につ 以て保育者や保護者に近しられたり、健康を誕生派 を図むたのの体験を整またりする		
てる力	安全有限的基	安全教育・民員教育について知り、安全に 配慮した環境を増えたり、状況に応じて行 動したりする	場合体の危機管理だついての意識を高め、自発を 予測して行動したも、図の保健の窓全を自接した りし、詳細について避好に対応する	災害や窓定外の事務の発生に備え、学程安全計画を禁 前し、関与の体制を確立する		
Ī	ARRESTAN	様々な人や文化・当前に触れて人間性や感 性を使いたり、地域の活動に解解的に参加 しようとしたをする	様々な移動をすることで、視野を広げたり、多様 な考え方をしたりする	自らを高のる様々な体験を積み直ね、費かな人間性を 会に付けるとともに、それるを繋の事業や社会との関 係の中で込かす。		
£	社会人・脳の一員 としての役割	湖の組織について規模し、その一員として の自覚をもつ	各分学のつながりを考えながら協働的に関係を 適的し、社会や報の影響の一員として責任をもっ て位別を集たす	誰の取り組みを拾載的に捉え、約4歳の人材を通材適所 で誘用したり、指導したりして、影識の切性化を図る		
どもや国像と共に育	職場における同僚 性と作ら合い	自分の考えを伝えたり、同僚の意見を聞い たりして理解しながら、連携して保育を進 める	保育者の対話的な物系性をつくり、関としての サーム力を高める丸のに、具体的な方法を提案し カリエ夫したりする	程度者一人一人の食さを並かしたナームをつくるために、値のの程度者の理能に応じた影響・助活をする とともに、人が作り合う残止をつくり、くドルリー ダーを支える		
	自国の理念・力計 の理解と実践	自腸の教育・保育理念や教育目標を理解し、 教育課程をもとに保育を進める	自縁の教育・保育理念の特徴を従く理解し、教育 目標を達成するための教育器性を編成し、関内で の内部を図る	自襲の教育・保育理念や教育目標、教育方針を明文化 し、教育課程を保護者や社会におかりやすくぶす		
ń	子どもを重んなか にして自開の保存 の質を高める	保育を評価するための様々なソールや方法 を知る	が他のアールや力法を理解し、自興の高度に応じ てそれるを使用し、保存の質の向上につなげる	解釈の質向上のための評価を課金体で進むていくる とのできる体制をつくる		
	保育者の存息なる と・具さを自開の 保育に済かす	自分の得意なるとを採用に送かし、子ども たちにその魅力を伝える	自分の存息なるとを動き、それらを保存に活かす とともに、他の保存者に助賞や指揮をすることが できる。新たな報告分野を開催する	保育者一人一人の存意なるとや良さを把握し、それら をさるに思いたり同的で近かしたりできる環境づく りに努める		
以也沒有 。	幼児教育・保育の 歴史や証整を知る	幼児教育・経済の歴史や思想とついて初新 する	3号投資庁・経済の歴史や志想について、自らの保 育と担らし合わせながら理解を深める	助見教育・保育の研究や事態について、家庭になえる べきことをむかりやすく如え、子育ての支援につな げる		
2548	日本の充実教育・	効果調・認定こども関・保育性・認可外保育 施設の目的・制度を選載する。	日本の幼児教育・採育が改っ世党的変遷や要領の 日の音号、収益等を開始する	日本の地気教育・保存の制度やその音楽について理解し、 助水的情報における場合しての物類を望かからとする		
田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田	が定数官・保育を 支える角漆の理論 を知る	発達の基礎問題を知り、洗幼児期の見達に ついて開解する	北京党副から児童院の発信についても程解し、発 達に即した保育を行う	0~日政の見道について深く理解し、見途の連続性を 意識した保付が端で行われるような環境づくりや指 等。助言をする		
子どもを理解する力	子どもの作りと終 験の理解	子どもと向き合い。様々な記録のとり方を 学びながら、子どもの思いや経験。育ちに ついて、ていないに別解しようとする	記録のとう方をエ大し、子どもの発達中間性等を より多額的に問題し、子どもの音もについて様々 な方法や保護者と共有する	子ども初報からはじまる教育・保育を実践するための 組織的な場所体制をつくり、保育者の子どもを効解す るわの北上を実施する		
	特別な配催を必要 とする子どもの教育	様々な除去についての基礎的な知識を身に 付け、特別な配慮を必要とする子どもを理 解しようとする	特別な配慮を必要とする子どもの特性を物解し、 ー人一人の教育的エーズに応じた合理的配慮に 努める	61. 自様な子ども同士が自ち合うことができる環境を 度に 紹介問訴機関とも適良しながら物質し、計画の、自 的に対応するように努める		
	我定の発達と保存	名光保育の意義や乳児の発達器程、配慮す べきこと等について物解する	表見の発達に即した仮育をするための環境や保 育者のかかありについて理解し、実践する	1个位 見足状質の環境を動業し、作用者や地域の子育で 終生する		
保育女計画	教育課程の編成と 全体的な計画及び 影博計画の作成	受額や自溺の教育課程・全体的な計画につ いて理解し、それらをもとに指導計画を作 成する	合併の教育課制や会体的な計画を踏まえて、乳幼 児際の会選に関した指導計画を存成するととも に、それらのことに関して作の保存者に除出する	数別課税を会体的な対談、指導計画を小学校との提続 を認識して構成・作成し、位達者や始端におからやす く説明することができる。アともの首もを開め込むす を結束えて、関中の前事を振ぶしたり、投流したりする		
- 9080	程度の構成	環境を通した教育・保育について対解し、 すどもの姿や活動の展開を予想して環境の 構成をする	子どもの実態を保倉者の扱い、ねらいを募まえて 環境を構成し、必要状化じて環境の再構成をす る。人的環境としての実行者のあり方について深 く可能し、他の保存者のカデルとなる	程度差別上が詳の環境について送し合い改善とつな げる場を設ける。第全体が仮有環境(人的・物的環境・ 自然環境・文化的環境等)の充実に知める		
日佐・京楽	アどちへの指導・ 税助	一人一人の子どもの思いや遊びの他院を理 起し、必要な前等・挑助をする	個と製物の青ちを遊講しながら、一人一人に応じ た適切な製造をしたり、他の保存者に対して共体 的な情況をしたりする	様恋者が子ども別解をもとに、一人一人に応じた適切を装 熱ができるように収食を除土が中が点よる機会をつくった り、保存者が安心して行動できる影像づくりをしたりする		
器する力	保育の扱う及うと 対策	自分の保育を振り返り、よかったところや 改善すべきところに気持き、次に途かそう とする	子ども用層に基づいた評価や、PDCAやイクルの 重要性について規模し、実践・共有する	評価を行うことの意義について用無し、端の保存の評 質・改否を行い、社会に会表・発動する		
*ト記名りの認定	保護者・地域との 連携	保護者と子どもについての情報交換をする 中で、信頼関係を築こうとする。対係今の 連携、提続の意義について地方、子どもた もの責責・能力を過度制の終わりまでに 育ってほしい後について理解する	保護者が相談しやすい市両気をつくす。保護者の 思いを受容的に受け止めながら適切に助言でき る。地域の専門機関の位別を同解し、施業所で。 小学校との文潔を研修に参加し、デともの発達や 変で機動のカリキュラムについて明解、共有する	程度を今地域、小学校に対して、他のな確全や手段を 通して管板を封に知める、収収に応じて、地域や関係 機関と原理・協師しながら、組織として促進者を支援 する体制を据える		
機をおける機	子育ての気管	子育ての支援の重要性を理解し、関を訪れ る地域の保護者等に対して誰かく後する	環域に関かれた関えしての多様を投資について 理解し、地域の保護者の下向てに関する思いを受 けまめながら、必要な支援をする。特別なエース をもつ変向について理解する。	地域に関かれた間として多様な役割を率カすことが できるような体別を整える。関かり保育や特別なニー ズをもつ家庭への支援を行う環境を整備する		
PACING	Homm	地域の人材や施森、自然、文化等について 知る	現場の党割を活用して存貨を借かにする	地域との信頼関係を模器し、関内で地域の問題についての情報を見れてながら、それらを活用した特別ある 解析を出める		



■ご注文・お問い合わせ

お近くの書店、または貴園にお伺いしている営業担当に ご連絡ください。